

## 当院採用のビタミン注射剤について

当院ではビタミン注射剤をいくつも採用していますが、その代表的な薬剤を取り出して違いを解説します。

薬品名	アリナミン F50 注	サブビタン 静注	ビタメジン 静注用	ビタセット(約束処方)
成分	フルスルチアミンとして 50mg(1 管)	チアミン塩化物塩酸塩 10mg、 リボフラビンリン酸エステル 5mg、 アスコルビン酸 200mg	チアミン塩化物塩酸塩として 100mg、 ピリドキシン塩酸塩 100mg、 シアノコバラミン 1mg	当院約束処方(ビタメジン 静注用+アスコルビン酸 500mg+、フラビタン注射液 10mg)
成分解説	ビタミン B1 として 50mg	ビタミン B1(10mg) ビタミン B6(5mg) ビタミン C(200mg) の配合剤。	ビタミン B1(100mg)、 ビタミン B6(100mg)、 ビタミン B12(1mg)の配合剤。末梢神経炎の薬。	ビタミン B1(100mg) ビタミン B2(10mg) ビタミン B6(100mg) ビタミン B12(1mg) ビタミン C(500mg)
薬効	ウェルニッケ脳症	ビタミン類の需要が増大した時の補給	左の適応の他に、神経痛、筋肉痛・関節痛、末梢神経炎・末梢神経麻痺	市販薬に、末梢輸液用ビタミン合剤の良いものが無いいため、水溶性ビタミンの合剤として使用
使い方・備考	当院では主にアルコール中毒に	総合的な水溶性ビタミン剤では無いことに留意	アリナミン(市販 OTC)、ノイロビタン配合錠類似の、末梢神経障害適応の薬剤	末梢輸液で「ビタジェクト」のような総合ビタミン剤は無いので、当院で配合のバランスを考慮したもの
写真				

30～49歳の標準的ビタミン所要量(1日)は、以下の通りです。わかりやすいように、1種類にまとめました。

男性。(<http://www.glico.co.jp/navi/e07-2.html>) 30～49歳の男性、女性の概量を確認

ビタミン B1:1.4mg      ビタミン B2:1.6mg      ビタミン B6:1.4mg      ナイアシン 15mgNE/日

ビタミン B12:2.4 μg 葉酸:240 μg      パントテン酸:5mg      ビタミン C:100mg

ビタミン A:700～900 μgRAE/日      ビタミン D:100 μg/日

(末梢輸液では、総合ビタミン剤は存在しません。理想に近い種類が入っている輸液がパレプラスとなります。)

所要量で考えると、1日1mg程度のビタミン B1 に対して、治療量(例:ビタメジン 100mg)は多いですね。

より安全な医療をみんなで行っていきましょう!!